

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	必修
担当教員			
塩野 徳史, 中馬 成子, 西山 忠博, 吉井 紀子, 田中 亮子			
木2			
添付ファイル			

科目の概要	<p>本科目では、看護援助の方法論である看護過程について学ぶ。看護過程とは対象の健康の維持・増進、あるいは、健康上の問題を解決するための道筋を示し、看護実践を計画的に進めるための方法論である。看護過程Ⅰに続き、ゴードン機能的健康パターンを用いたアセスメント、適切な看護診断の導き方、看護診断の構造、目標設定と看護計画の立案のプロセスについて、各段階の概要を理解し、論理的に展開する方法を学ぶ。演習事例を通して、アセスメントに基づく個別性のある看護計画の立案と、計画に基づいた看護実践の方法を学び、実施した看護の成果に対する評価方法とフィードバックの意義を学ぶ。</p>
授業の内容	<p>第1回 講義 *オリエンテーション シラバスを事前によく読んでおくこと 1) アセスメント (情報の関連性、全体像の把握、統合) 看護過程Ⅰの内容を振り返り、情報の統合、情報の関連性を考え、対象の全体像を把握する方法を学び、問題の明確化と関連要因、指標の意味について学修する。</p> <p>第2-3回 講義/演習 1) 看護診断 (問題の明確化、看護診断の定義、共同問題の定義、ハンドブックとの照合) 看護診断の考え方、共同問題の考え方を学び、その構成要素 (関連要因と診断指標) について学び、看護診断ハンドブックを活用し、対象の全体像を把握から、看護上の問題を明確化、看護診断の決定と記述について学修する。</p> <p>第4-6回 講義/演習 1) 看護計画 (優先順位の考え方、目標の設定、看護計画の立案) 看護上の問題について優先順位の考え方を学ぶ。抽出した看護診断に基づいて、看護計画における期待される成果について学び、留意点をふまえて、看護目標を設定する方法を学修する。</p> <p>第7-8回 講義/演習 1) 看護援助の実施と評価 看護計画の種類を学び、標準看護計画を参照し、看護計画を立案する方法を学修する。SOAP、フォーカスチャーターニング、看護記録に関する基礎知識、記録の目的・意義・構成要素、看護記録記載における留意点を学修する。</p> <p>第9-13回 演習 (グループワーク) 演習事例Cの展開 (アセスメント～看護計画)</p> <p>第14-15回 演習 (グループワーク) GW発表会 定期試験</p>
学習到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象の健康上の課題や療養上のニーズを明らかにすることができる。</li> <li>2. 全体像を意識しながら対象者のニーズを見いだすとともに優先順位を決定できる。</li> <li>3. 看護の視点から見いだされた対象者のニーズに対応する目標を示すことができる。</li> <li>4. 目標を遂げるための要件を示し、看護計画を立案できる。</li> <li>5. 目標・要件に応じた評価日を設定して示すことができる。</li> <li>6. 実施した看護を評価する意義を理解できる。</li> <li>7. 評価の基準に基づき、目標の達成状況を適切に評価できる。</li> <li>8. 評価に基づき、看護計画を修正できる。</li> <li>9. アセスメント・診断・計画・実施・評価のプロセスを論理的に展開できる。</li> </ol>
授業の方法	<p>【授業形態】 講義形式と演習 (グループワーク) 形式を組み合わせる。</p> <p>【アクティブラーニングの取り入れ状況】 演習は3人～4人のグループに分かれて実施する。演習のオリエンテーション時にグループ配置表を配付する。</p> <p>【ICTを利用した双方向授業】 講義は遠隔 (オンデマンド) 形式と対面形式で行う。</p> <p>【その他特記事項】 特になし</p>
成績評価の方法	<p>【評価項目】 小テスト、演習レポート、定期試験で評価する</p> <p>【割合】 小テスト (10点×3回) 30%、演習レポート (事例B記録、グループワーク資料) 20%、定期試験50%</p>
教科書・テキスト	<p>系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ, 医学書院, 2019. リンダJ. カルペニート: 看護診断ハンドブック第11版, 医学書院, 2019.</p>
参考書	<p>リンダJ. カルペニート (藤崎郁訳): 看護過程看護診断入門, 医学書院. 小田正枝: 症状別 看護過程 アセスメント・看護計画がわかる! (ブチナースBooks)、照林社. 小田正枝: 観察ポイントとケア チャートでわかる! (ブチナースBooks)、照林社. 任和子: 実習記録の書き方がわかる看護過程展開ガイド ヘンダーソン ゴードン NANDA-I オレム ロイ</p>

	(プチナースBooks)、照林社.
授業時間外の学修について(事前・事後学習について)	各授業の学習に際し、事前課題の実施、授業後の振り返りを行い、それぞれレポートにまとめ学習内容の修得に努めてください。そのために講義前後に各60～90分の自己学習を必要とします。特に演習事例については、「解剖生理」や「疾患・治療」の理解が必要となります。事例に関する参考書・教科書などをもとに、十分な自己学習を行ってから授業に参加してください。講義の初めに前回までの講義の内容に関する小テストを行うので、復習をしておくこと。
履修上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義・演習では主体的に考える個人の学習が基本です。提示された課題、事前学習は必ず指示された日時までに行ってください。</li> <li>・講義演習の出席は「出席カード」で確認します。</li> <li>・講義中の携帯電話・スマートフォンなどは原則、使用禁止とします。</li> <li>・本科目では看護過程Ⅰで配付済みのレジュメを活用します。</li> <li>・事例や記録用紙の取り扱いは、臨地実習における個人情報の取り扱いに準じます。適切な管理を心掛けてください。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの感染状況や、教室の規模、受講者数を総合的に考慮し、感染対策(マスク着用や手指消毒など)を講じた上で対面授業を行います。各自、体調管理には十分に注意し、授業前には健康管理表を持参して提示してください。</li> </ul>
オフィスアワー	塩野徳史：火曜・水曜日 12:20-13:30 5号館 研究室102
課題に対するフィードバックの方法	講義演習で提出した小テスト、レポート類は返却します。特に小テストの回答についてはその都度、期間を決めて掲示しますので、復習に役立ててください。また、質問や理解が難しい箇所がある場合には、そのままにせず、オフィスアワーやメール等で事前に日程を調整してから、お越しくください。
実務経験	看護師
その他	本科目は、夏季に開講予定の基礎看護学実習Ⅱと連動しています。講義や演習の予習、復習を必ず行い授業に臨んでください。やむを得ず欠席する場合には、可能な限り迅速に担当教員に連絡・相談してください。